

佐用町は、誘致企業を全力でサポートします

学校等跡地施設利活用のご案内

「暮らしたい」「働きたい」「訪れたい」佐用町をめざして



佐用町

絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

SAYO TOWN

平成 17 年 10 月に佐用郡 4 町が合併し、新しい「佐用町」が誕生してから、はや 20 年が経過しました。

佐用町は、透き通った清らかな水をたたえる千種川、ロマンチックな満天の星、太陽に照らされて

鮮やかな黄色に輝くひまわり、懐かしさを思い起こさせる棚田、土蔵と川座敷に漂う宿場町平福の風情などの豊かで美しい自然と文化遺産、生命科学・医療分野など世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8、ナノテクノロジー分野をはじめ「ものづくり産業」が集積している播磨科学公園都市、宇宙の神秘を実感できる公開用としては世界最大級の望遠鏡を備えた兵庫県立大学西はりま天文台などを有する美しい町です。そして、それらの豊富な資源は、私たちの先人のたゆまぬ努力と愛着によって築き、守られてきました。

これまで佐用町では、地域に根ざした「絆」や、町民の皆さまと築いてきた「協働」の力を大切にしながら、まちづくり・ひとづくりに取り組んでまいりました。

一方で、人口減少や少子高齢化といった社会の急速な変化により、やむを得ず一部の小中学校や保育園が閉校・閉園となり、地域の風景や暮らしも変化しています。

そのような状況の中でも、たとえ町の人口や規模が小さくなっていても、誰もが楽しく、充実して暮らせることを目指す「縮充のまちづくり」に取り組んでいます。

閉校・閉園となった施設についても、地域資源として新たな価値を見出し、企業誘致などによる雇用の場の確保や経済の活性化、産業振興につなげていく取り組みを進めています。

こうした施設を活かしていただける事業者の皆さまには、全町を挙げてしっかりと支援させていただく所存です。自然と人が調和し、未来へとつながる佐用町での新たな挑戦を、心よりお待ちしております。



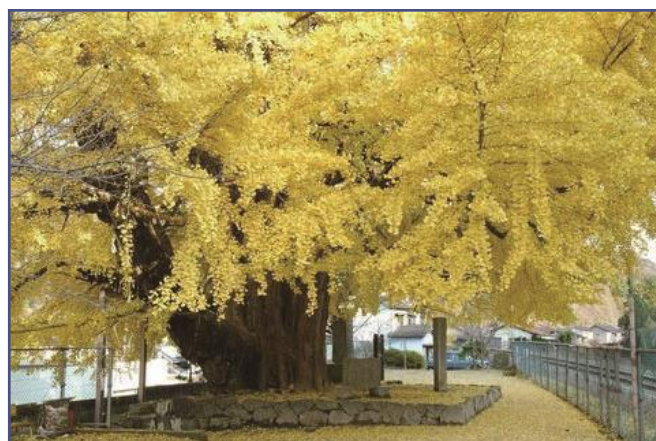
「企業の皆様を全力で支援します」

佐用町長

庵 途 典 章



町花：ひまわり



町木：いちよう

1 位置と地勢

兵庫県西部の西播磨地域に位置する佐用町は、西は岡山県、東は宍粟市及びたつの市、南は上郡町と接しており、その面積は307.44㎢です。姫路市へは約40km、神戸市へは約80kmの位置関係にあります。町の南部には、佐用町とたつの市、上郡町にまたがって播磨科学公園都市があります。豊かな自然環境の中、世界最高水準の大型放射光施設「SPring-8」、X線自由電子レーザー「SACLA」等の先端科学技術基盤があります。



また、兵庫県立大学、西はりま特別支援学校、県立西播磨総合リハビリテーションセンターなど学術研究機関や学校等が整備されています。

■人口と面積（人口、世帯数は令和2年国調数値）

| | |
|-----|-----------|
| 人口 | 15,863 人 |
| 世帯数 | 5,927 世帯 |
| 面積 | 307.44 k㎡ |

2 自然環境

佐用町は、氷ノ山・後山・那岐山国定公園の一角に位置する中山間地域で、全国名水百選に選ばれた清流、千種川とその支流の佐用川などが南北に流れています。また、日本の棚田百選に選定されている乙大木谷の棚田、全国農村景観百選に選定されているひまわり畑など、美しい田園風景が広がっています。



■佐用町の月別降水量（平成17年～令和2年データ）

| 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----------------------|-----|-----|------|-----|-----|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| 降水量（mm） | 47 | 62 | 95 | 105 | 110 | 154 | 228 | 149 | 201 | 94 | 58 | 59 | 1,362 |
| 平均降水日数（日） （≧1.0mm） | 7.5 | 8.3 | 10.1 | 9.4 | 9.0 | 10.1 | 11.5 | 9.4 | 10.0 | 7.5 | 6.0 | 7.2 | 106.0 |

（気象庁ホームページより）

3 鉄道・交通

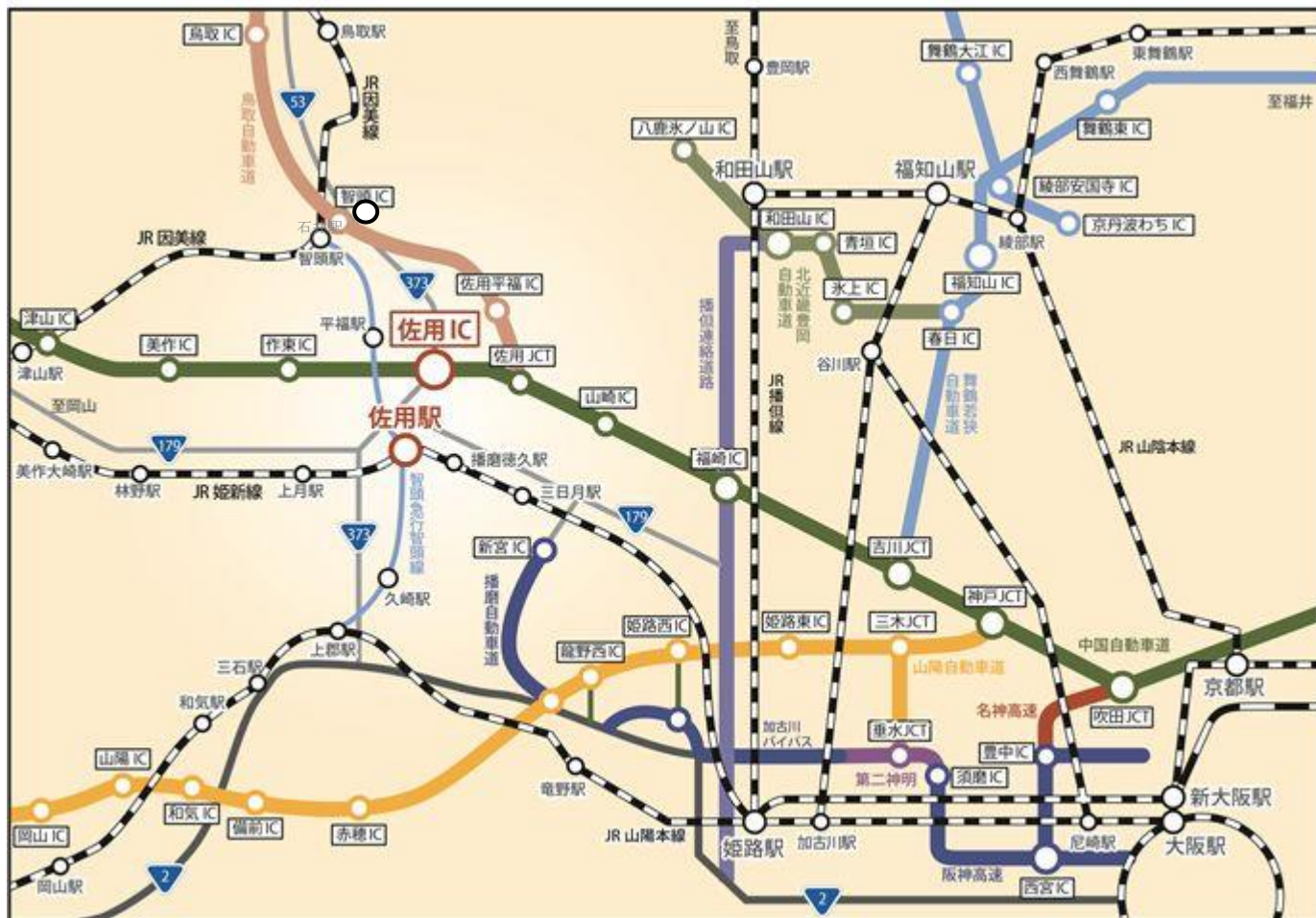
佐用町の交通網は、東西方向に国道179号、中国自動車道、南北方向に国道373号、鳥取自動車道が通っており、交通アクセスに恵まれた地域です。また鉄道網は、JR 姫新線が東西方向に、智頭急行智頭線が南北方向に通っています。



中国自動車道（佐用 IC）



鳥取自動車道（佐用平福 IC）



鉄道アクセス

JR 姫新線・智頭急行智頭線

| | | | |
|-------|----|-------------|---------------------|
| 京 都 駅 | から | 約 2 時間 20 分 | (スーパーはくと) |
| 新大阪 駅 | から | 約 1 時間 40 分 | (") |
| 大 阪 駅 | から | 約 1 時間 30 分 | (") |
| 三 宮 駅 | から | 約 1 時間 10 分 | (") |

| | | | |
|-----|----|--------|-----------|
| 姫路駅 | から | 約 35 分 | (スーパーはくと) |
| | | 約 1 時間 | (姫新線) |
| 津山駅 | から | 約 1 時間 | (姫新線) |
| 岡山駅 | から | 約 50 分 | (スーパーいなば) |

道路アクセス

中国自動車道・山陽自動車道・鳥取自動車道

| | | |
|------|--------|------------|
| 大阪から | 約 70 分 | 池田 IC から |
| 神戸から | 約 60 分 | 神戸三田 IC から |
| 津山から | 約 20 分 | 津山 IC から |

| | | |
|------|--------|----------|
| 岡山から | 約 90 分 | 岡山 IC から |
| 鳥取から | 約 55 分 | 鳥取 IC から |

4 生活環境

大型ショッピングセンター

佐用町は、きれいな水、豊かな緑にかこまれ、美しい星空や棚田等の田園景観が広がり、特色ある景観に囲まれた自然豊かなまちです。乙大木谷・田和の棚田、清流千種川、南光自然観察村など大自然と触れあうことができるスポットが多数あり、暮らしに潤いを与える環境が充実しています。

また、医療、福祉施設も充実しており、病院をはじめ民間福祉施設が多数開設されています。町営住宅は、15団地があります。保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校も充実しており、ゆとりを持って子育てをすることができます。さらに、1市2町で構成する播磨科学公園都市には、独立行政法人理化学研究所播磨事業所、財団法人高輝度光科学研究センター、県立大学理学部、附属高等学校、附属中学校、県立西播磨特別支援学校など専門的教育機関が近くにあり教育環境も充実しています。

| | | |
|--|---|--|
| 商業施設 ショッピングセンター 1 スーパーマーケット 2 コンビニエンスストア 7 ホームセンター 2 金融機関 信用金庫 3 信用組合 1 郵便局 14 (集配・無集配郵便局) 兵庫西農業協同組合 4 ※支店・支所・出張所含む 医療機関 病院 3 診療所 6 歯科診療所 4 町営住宅 佐用地域 4 団地 (149 戸) 上月地域 5 団地 (89 戸) 南光地域 2 団地 (26 戸) 三日月地域 4 団地 (93 戸) | 学校等 町立保育園 5 私立幼稚園 1 町立小学校 4 町立中学校 4 県立高等学校 1 主な社会教育施設 町民図書館 1 温水プール 1 体育館 10 町民グラウンド 2 野球場 1 テニスコート 1 屋内運動場 4 キャンプ場 1 天文台 1 定住促進住宅 佐用地域 1 団地 (60 戸) | 介護サービス等事業所 居宅サービス 通所系 15 訪問系 12 施設サービス 7 ケアマネジャー事業所 14 障害者福祉サービス施設 入所・通所施設 13 グループホーム 2 在宅サービス 1 子育て支援施設 子育て支援センター 1 親子で楽しく参加できる『親子運動教室』や「絵本の読み聞かせ」「子育て講演会」「子育て相談」などを実施しています。 |
|--|---|--|

(令和7年5月1日現在)

【定住促進施策として家賃を減免】 ※ 部屋に空きがない場合は入居できません。

新婚世帯、子育て世帯、単身勤労者への優遇措置として定住促進住宅の家賃を4年間減免します。

【新婚世帯】 1階～3階 月額36千円 → 25千円 4階～5階 月額32千円 → 20千円

【子育て世帯】 1階～3階 月額36千円 → 30千円 4階～5階 月額32千円 → 25千円

【単身勤労者】 3階 月額36千円 → 30千円 4階～5階 月額32千円 → 25千円

5 生活環境

佐用町の産業は、農林業、商工業、観光から成り立っています。令和2年における産業分類別就業人口を見ると、第3次産業が4,714人(64.8%)と最も多く、次いで第2次産業が2,025人(27.8%)、第1次産業が542人(7.4%)の順になっています。

農林業においては、自然薯、もち大豆、ひまわり油、そばなどが地域ブランドとして定着しています。一方、農家数の減少や高齢化、耕作放棄地の増加など農業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。このため、生産基盤の維持・保全と生産性の高い経営を確立し、若者が魅力を感じる環境づくりを図っています。

また、商工業は魅力ある商店街の形成や独自商品の開発支援に努め、起業支援を行うとともに優良企業の誘致に努めています。観光産業は、既存観光施設・資源を生かして、都市との交流を盛んにし、ビジネスにつなげていきます。さらに、様々な分野の産業集積が期待されている播磨科学公園都市では、その立地を生かして新たな産業が導入され、雇用の拡大につながっているところです。



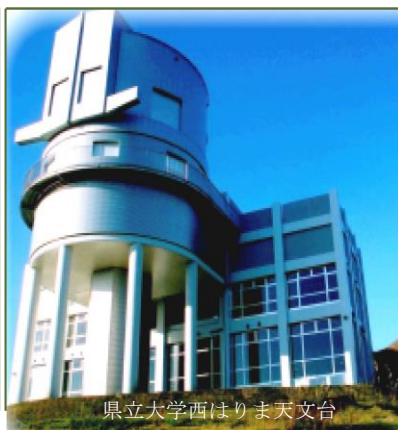
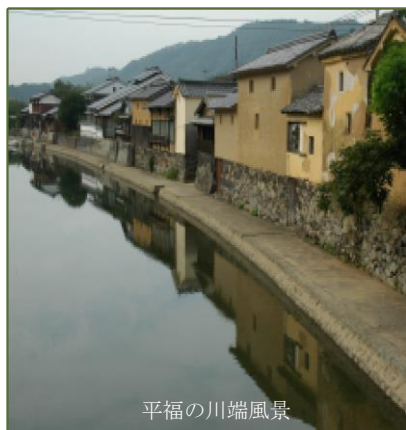
6 歴史・環境・レジャー

佐用町は、東西に出雲と大和を結ぶ出雲街道と、南北に吉備と因幡・但馬を結ぶ因幡街道が交差する交通の要衝となっています。古くから街道とともに宿場町として栄えました。宿場町「平福」は、しばしば時代劇のロケ地にもなっている赤茶色の土蔵と川屋敷が建ち並ぶ「川端風景」で有名です。

佐用平野を取り巻く周囲の山々には数多くの古墳群や山城などの遺跡があります。

特に、利神城や上月城、三日月陣屋といった城跡をはじめ、佐用都比売神社、船越山南光坊瑠璃寺など各地域に歴史的資源を有しています。

佐用町は、自然に恵まれた町です。家族と休日をアウトドアで楽しむこともできる施設も充実しています。ひまわり、花しょうぶ、しゃくなげ、ルピナス、カタクリなどの花の名所もたくさんあります。全国星空の街108選に選ばれるなど、大撫山から見る美しい朝霧や澄みきった空気の中で満天の星空と景観をお楽しみいただけます。また、県立大学西はりま天文台の「なゆた望遠鏡」は、口径が2mあり、公開用としては世界最大級の反射望遠鏡としても有名です。



情報通信網の整備と防災情報の提供

【町内全域に光ケーブルを敷設】

情報化社会の進展とともに、佐用町では情報通信基盤整備として、町内全域に光ケーブルを敷設し、姫路ケーブルテレビによるインターネットなどの情報通信サービス（１０ギガ月額５，３９０円税込み・１ギガ月額４，７３０円税込み）やテレビ放映サービス（月額５５０円税込み）が提供されています。

また、防災情報を提供するために、大雨などの際には、佐用チャンネルにおいて河川監視カメラによる河川のライブ映像や水位などを放映し、住民の安全安心のための施策を推進しています。

河川情報提供システム



佐用チャンネル収録の様子



民間事業者と連携

佐用町では、再生可能エネルギーに取り組む一環として、民間企業と共同で事業組合を設立し、出力約５メガワットと約１０メガワットのソーラー発電所を建設しました。売電収入は、森林整備事業や子育て支援等に活用しています。

このほか、町内のまちづくり会社などと連携し、大正期に建築された旧木村邸を一棟貸しの宿「NIPPONIA（ニッポニア）平福宿場町」、旧木村酒造場をレストラン「KUMOTSUKI（くもつき）」及び「重次郎（じゅうじろう）平福茶房」として改修し、平福地域の活性化と魅力発信に努めています。

メガソーラー発電所



旧木村酒造場 レストラン「KUMOTSUKI」・「重次郎平福茶房」

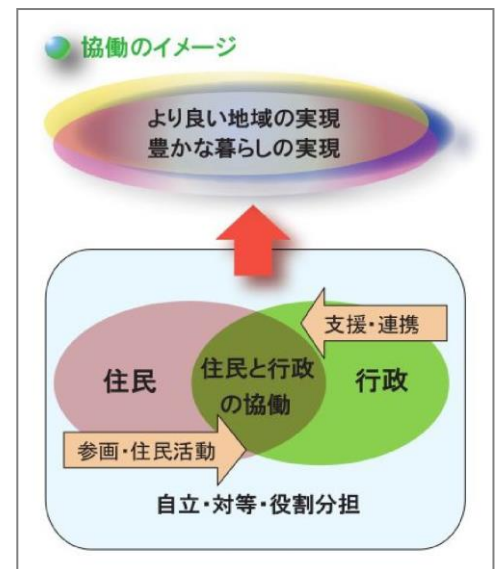


協働のまちづくり

協働のまちづくりとは

佐用町がめざす暮らしやすいまちづくりとは、より良い生活を作っていこうとする「暮らしづくり」そのものが「まちづくり」です。

「協働」の意味とは「住民と行政、または住民同士が、それぞれの特性を生かし、お互いを尊重しながら足りないものを補完しあい、問題解決にあたること」を言い、この「協働」の意味を住民と行政が共に理解し、共有すること、そこから「協働のまちづくり」はスタートします。暮らしに密着した生活課題（安全・安心の環境、子育て、福祉課題など）を地域の人たちで知恵をしぼり、解決方法を模索、実践しています。地域で解決できない場合は、行政や関係機関等と協力し解決にあたります。



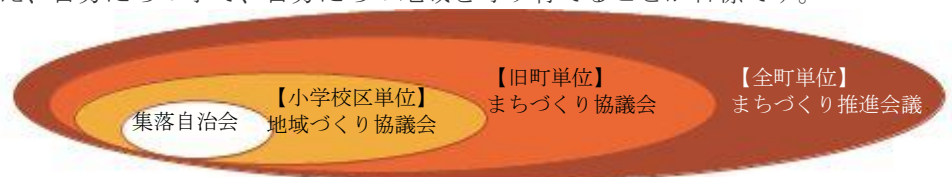
地域づくり協議会 ～ 自らの地域は自らの力でつくる ～

協働を推進する新しい自治組織

より良いまちづくり実践のために、町内に13の地域づくり協議会が設置されています。協議会は、概ね旧小学校区単位で設立し、地域住民全員が会員です。

地域づくり協議会の活動は、一つの自治会では行えないこと、広域的に実施するほうがより良いことなどを行っています。地域全体で、将来を見据え、自分たちの手で、自分たちの地域を守り育てることが目標です。

地域づくり協議会の活動の場は、「地域づくりセンター」と呼ばれ、地域に存在する公共施設を活動の拠点としています。



自治会と地域づくり協議会の大きな違いは、若者や女性はもちろん、関係人口など多様な人々や企業・組織などが関わることができることです。多くの方のかかわりを得て、継続できる組織を目指し、地域づくりを行っています。

○地域づくり協議会の取り組み事例

長谷地域づくり協議会



「長谷助け合い隊」は、「困っておられる方のお手伝いがかできないか」という想いから生まれた、有償ボランティアによる助け合いの取り組みです。

自分たちの地域は自分たちで守り、誰もが安心して暮らし続けられる地域をめざしています。

小さな困りごとを、地域のつながりで解決していく仕組みづくりが進められています。

江川地域づくり協議会



地域内全世帯にアンケートを実施し、意見として一番多かった、地域交通問題を協議会で解決しようと、交通部会を結成し、自分たちの手でデマンド型コミュニティバスを運行しています。この取り組みは、過疎地域の地域交通の先進的な取り組みとして、全国的に高い評価を得ています。

また、空き家問題・耕作放棄地など新たな課題にも取り組んでいます。

三日月地域づくり協議会



構成部会であるヤツデの会が、週3日「米食堂おいでな」を運営し、三日月のお米と無添加素材、里山の食材などを提供しています。加えて、社協の配食事業にも協力し、高齢者の皆さんへ栄養バランスのとれた食事をお届けしています。

また、地域の歴史的資源を活用した取り組みにも熱心で、武家屋敷マルシェや歴史勉強会、町歩きなどを実施されています。

支援制度

佐用町の独自の支援制度

佐用町では、学校等跡地施設を利活用していただく事業者に対して

「土地・建物は原則無償貸与します（10 年間）」

※11 年目からは賃借料をいただきます。

中小企業者創業支援事業

●制度概要・内容

町内での起業・創業希望するかた（小売業・飲食業・サービス業）に対し、補助率 1/3 で 2 ヶ年で最大 200 万円（1 年目 150 万円・2 年目 50 万円上限）を補助する事業

●対象者

- ①佐用町内で創業・第 2 創業を行う個人又は法人
- ②個人の場合は、事業完了までに町内に居住し、住民基本台帳に記載されていること
- ③法人の場合は、事業完了までに町内を本店所在地とした法人登録が行われていること
- ④事業計画作成については佐用町商工会の指導を受けること
- ⑤納期の到来した町税を滞納していないこと
- ⑥申請者及びその同居人、従業員等が佐用町暴力団排除条例（平成 24 年条例第 1 号）に規定する暴力団員及び暴力団密接関係者でない者
- ⑦既に本補助事業を実施していない者
- ⑧営業開始時より佐用町商工会へ加入をお願いします。

●問い合わせ先

商工観光課（0790-82-0670）

中小企業者支援融資利子補給事業

●制度概要・内容

新規創業等を行うかたに対して、融資実行日から利子額の 1/2 を 3 年間 30 万円上限（年 10 万円上限）を交付する事業

●対象者

起業や事業継承などで事業資金を対象金融機関から融資を受けたかた

●問い合わせ先

商工観光課（0790-82-0670）

企業誘致
補助施設

幕山小学校



施設 DATE

- 所在地 兵庫県佐用郡佐用町本郷586番地1
- 建設年月日 校舎 昭和48年3月建築 (耐震補強H22) 改修工事 平成22年
鉄筋コンクリート造
ランチルーム 平成22年10月改築
鉄骨造平屋建て

道路・鉄道

- 中国自動車道 佐用インターチェンジまで車で14分 (7.9km)
山崎インターチェンジまで車で43分 (32.3km)
- 鳥取自動車道 平福インターチェンジまで車で18分 (12.2km)
- 播磨自動車道 新宮インターチェンジまで車で27分 (20.0km)
- JR姫新線 上月駅まで車で8分 (4.6km)
- JR姫新線・智頭線 佐用駅まで車で10分 (5.6km)

用水・排水

- 町営水道 (口径 25mm)
- 農業集落排水



【 お問い合わせ 】 佐用町企画防災課まちづくり企画室

〒679-5380 兵庫県佐用郡佐用町佐用 2611 番地 1

TEL: 0790-82-0664 FAX: 0790-82-0492

E-mail: kikaku@town.sayo.lg.jp